短期インターンシップ概要

主な対象：1〜3年生他

対　象　県内大学生、短大生、専門学校生、高等専門学校生及び35歳未満の若年求職者（昭和58年4月2日以降に生まれた者）。但し、学生以外の者は県内に住民票を有すること。語学力不問。

派遣期間　①夏 期　平成29年8月27日（日）〜9月5日（火）（9泊10日予定）
②春 期　平成30年2月25日（日）〜3月6日（火）（9泊10日予定）

派遣者数　①夏期66名　②春期66名（予定）

派遣先　❶ 香港　❷ ベトナム　❸ シンガポール　❹ 台湾　❺ マレーシア 等

研修内容　就業体験、現地学生交流、日系企業訪問、県人会・長期OB交流会、フリーリサーチ等

語学力不問

中期インターンシップ概要

主な対象：2〜3年生他

対　象　県内大学生、短大生、専門学校生、高等専門学校生及び35歳未満の若年求職者（昭和58年4月2日以降に生まれた者）。但し、学生以外の者は県内に住民票を有すること。日常会話程度の語学力を有する者。

派遣期間　平成29年8月〜9月末 平成30年2月〜3月中旬 左記期間の内、1か月程度。企業面接後、随時派遣します。

派遣者数　合計10名（予定）

派遣先　❶ 香港　❷ ベトナム　❸ シンガポール　❹ 台湾　❺ マレーシア 等

研修内容　1ヶ月の就業体験

長期ジョブトレーニング概要

主な対象：4年生以上・社会人

対　象　県内35歳未満の若年求職者（大卒・昭和58年4月2日以降に生まれた者）及び県内大学生（単位を取得し卒業見込者）。但し、学生以外の者は県内に住民票を有すること。日常会話程度の語学力を有する者。

派遣期間　平成29年8月〜平成30年3月　左記期間の内、最大3か月。企業面接後、随時派遣します。

派遣者数　合計15名（予定）

派遣先　❶ ベトナム　❷ マレーシア　❸ 香港　❹ シンガポール 等　※自己開拓も事務局がサポートします。

業　種　貿易業・飲食業・IT業・不動産業・マーケティング業・旅行業・日本語教育 等

求められる語学力のレベルは受入企業により異なります。まずはお問い合わせ下さい。

※派遣国で事件、事故、災害等が発生した場合、派遣の中止、変更及び研修中の帰国もあります。

募集期間

短期・中期
- ①夏 期　平成29年 5月15日（月）〜6月16日（金）17時まで
- ②春 期　平成29年 11月1日（水）〜12月1日（金）17時まで

長期
- ①6月募集　平成29年 6月1日（木）〜30日（金）
- ②8月募集　平成29年 8月1日（火）〜31日（木）
- ③10月募集　平成29年 10月1日（日）〜31日（火）

現地宿泊費補助
研修派遣国では、日本人スタッフが研修をサポートするので安心です。
※食費・渡航費等は自己負担となります。

■応募方法
ホームページから直接エントリーして下さい。エントリーできない場合は事務局にお問い合わせ下さい。

海外ジョブチャレンジ　kaigai-job.com　エントリー先 info@okinawa-hc.com

■お問い合わせ
海外ジョブチャレンジ事務局 TEL.098-895-1702 FAX.098-917-0025
［（株）沖縄ヒューマンキャピタル内］
【運営：（株）沖縄ヒューマンキャピタル・（株）サン・エージェンシー・（株）ラジカル沖縄・ブルームーンパートナーズ（株）・（株）日本旅行沖縄】

海外ジョブチャレンジHP　Facebook

説明会開催中!!

長期説明会は随時開催中！
興味のある方はまずお電話を！

沖縄県があなたの海外就職・インターンシップを応援します！　本事業は沖縄県による事業です。

沖縄県商工労働部雇用政策課

平成29年度「沖縄若年者グローバルジョブチャレンジ事業（海外ジョブチャレンジ事業）」
［沖縄振興特別推進交付金活用事業］

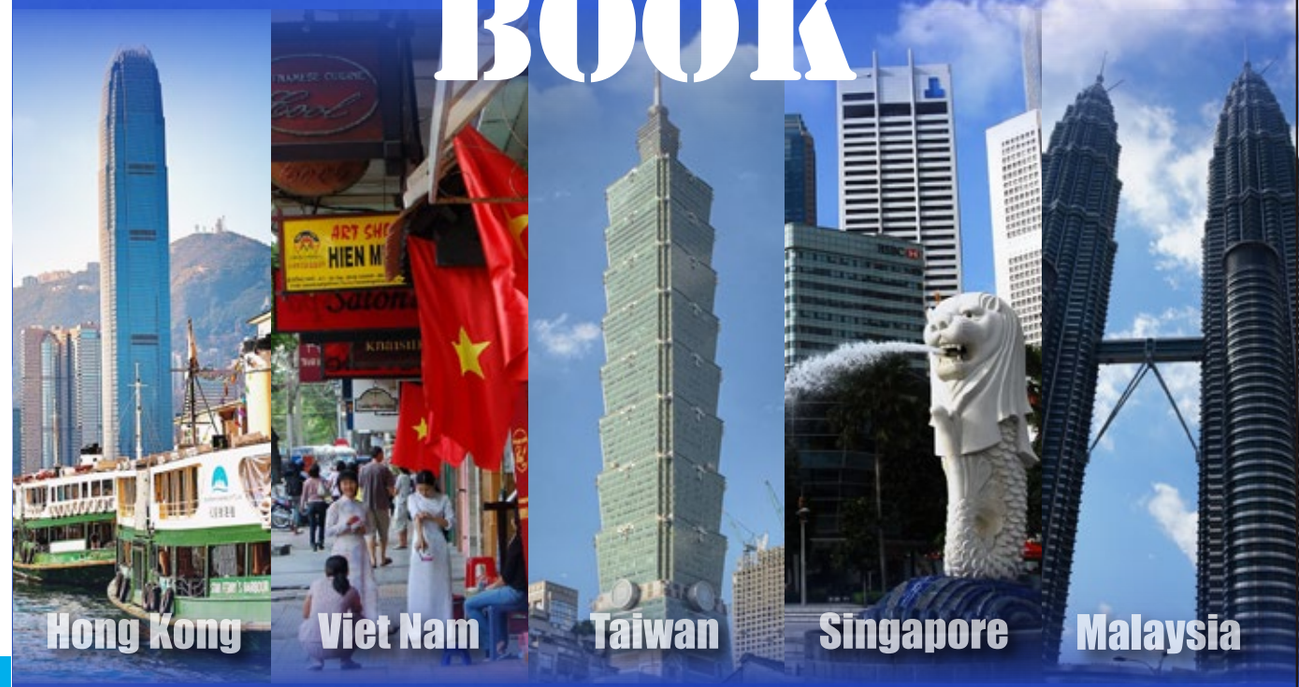
みんなでグッジョブ運動

一歩踏み出す勇気が、自分を変える！

海外

長期ジョブトレーニング・中期インターンシップ・短期インターンシップ
体験者

INTERVIEW BOOK



沖縄県商工労働部雇用政策課

夢の海外就職へ向けて、さあ、第一歩を踏み出そう！

海外へ飛び出す。今こそスタート！

海の向こうにあるアジア諸国では目覚ましい経済発展が続き、
グローバル化が加速しています。
各国には多くの日系企業が次々と進出し、雇用も一段と拡大しています。
このような中、沖縄県では、海外就職を考えている若者たちを支援する
『沖縄県海外ジョブチャレンジ事業』を実施しています。
この事業を通じ、海外就職の夢を叶えた先輩たちがいます。
海外就職は決して手の届かないものではありません。
海外日系企業が求める語学力スキルも様々。
まずは、挑戦してみませんか？
一歩踏み出してみることで、
大きなチャンスをつかみ取る機会、
可能性が広がります。

海外就職へ向けてステップアップ！

例えば1、2年次に『短期インターンシップ』で海外を経験し、グローバル観を感じ取り、3年次に『中期インターンシップ』で就業体験や異文化・生活体験で、海外就職への可能性を高めるプログラムを実践。4年次以降で実際に海外企業において最大3ヶ月の『長期ジョブトレーニング』を行い海外就職を勝ち取ることも可能です。本事業を活用することで、段階を踏みながら海外就職を目指す事ができます。

短期から中期、そして長期へのステップアップが、海外就職への近道です。

H24~H28 年度実績

就職決定者 52名

例年、アジア各国で就職を勝ち取っています。

長期ジョブトレーニング派遣者数	73名
中期インターンシップ派遣者数	10名
短期インターンシップ派遣者数	591名

主な派遣先

（実績）

派遣先は、観光業・IT・物流など業種・職種は多岐にわたります。

ベトナム

ホーチミン／ハノイ

真面目で勤勉、向上心の高い国民性が評価され、現在のベトナムは人財の宝庫と言われ、世界中から多くの企業が進出しています。

ベトナムの主な派遣先 等
- 旅行業
- 水処理業
- 情報通信業
- 物流業
- サービス業
- 人材紹介業
- イベント業 等

シンガポール

急激な経済成長が予測されるアジア諸国のハブとしての機能を有するため、世界中から多くの企業が進出しています。

シンガポールの主な派遣先 等
- サービス業
- 飲食業
- メーカー 等

マレーシア

安定した経済成長が見込め、天然ガスなどの資源にも恵まれているため、東南アジアの優等生と評価され、継続的な投資により将来性が有望視されています。

マレーシアの主な派遣先 等
- サービス業
- 医療サービス
- 情報通信業
- 旅行業 等

香港

古くからアジアにける交通・金融・流通の要所であり、人口は700万人を超え、長期滞在の日本人は約2万人を数えます。

香港の主な派遣先 等
- 飲食業
- メーカー 等

台湾

沖縄からも近く、20世紀後半からは急速な経済発展を遂げた。ハイテク産業など国際的にも重要な企業が多い。

台湾の主な派遣先 等
- 旅行業
- 製造業
- 情報通信業 等

海外長期ジョブトレーニング

海外長期ジョブトレーニングとは、お仕事をお探しの県内在住35歳未満の方を中心に、海外企業で、就職を前提に3ヵ月程度OJT訓練を行うプログラムです。必要とされる語学力は企業により異なるため、自分の語学力に合った企業とマッチングされます。平成28年度までの参加者には、新卒を含め実際に就職が決まった人が52名おり、あこがれの海外生活をスタートしています。

●主な派遣先（実績）

■ベトナム（ホーチミン・ハノイ）
○旅行業　○サービス業
○水処理業　○人材紹介業
○情報通信業　○イベント業
○物流業

■シンガポール
○サービス業
○メーカー

■香港
○飲食業　○メーカー

■マレーシア
○IT業　○サービス業

『海外長期ジョブトレーニングを終えて』

就職決定

金城さん

全ては自分次第。自らの行動が良い結果を生む。

早稲田大学出身（平成26年3月卒）

派遣先　ベトナム／ホーチミン［サービス業］

この三ヶ月間は、私の人生の転機となった。海外で働くことの楽しさ、辛さ、ホーチミンの雰囲気、環境、人々を知り自分が二倍、三倍に大きくなったような気がする。それは、おそらく自信がついたのだと思う。私は結果的にホーチミンで働く道を選んだが、海外で働く経験を通して、今後の人生を考えるうえで、幅が広がることは大変素晴らしいし、この経験は今後どのような仕事に就いても必ず活かせると思う。

三ヶ月間で学んだ事は多々あるが、**自分を知る経験ができた事は一番の収穫**であったのではないかと思う。海外就職は「白いキャンパスに絵を描く」様なものだ。自分が何を考え、どんな行動をし、何を創る事ができるのか。慣れ親しんだ土地ではなく、居心地が異なる環境の中、自分がどうなりたいのか突き詰める事によって、最大の熱意が生まれ結果的に良い作品が出来上がるのではないかと思う。全ては自分次第である。

『何事にもトライすること』

新卒　就職決定

大田さん

自分らしさを忘れないで何事にも挑戦！

琉球大学出身（平成29年3月卒）

派遣先　ベトナム／ホーチミン［飲食業］

今回ベトナム・ホーチミン市にある和牛専門店にてジョブトレーニングをしました。そこでは、マネージャーアシスタントとして接客や経営、そしてビジネス戦略等について、各週毎に深い研修を行いました。今回のジョブトレーニングは、私にとってすごく大きなチャンスでした。日本とは全然違う環境で、言語や習慣をその土地に合わせながらのスタイルで、スタッフやお客様とコミュニケーションを図るのが私の役割でしたが、それは大きな挑戦でありすごく難しかったです。その中でも自分らしさを忘れないで楽しく接客すること、**自分なりの「ベスト」を見つけていく**ことにより、自身の成長に大きく繋がることを感じました。卒業後お世話になった企業へ就職することが決まりました。これからも何事にも挑戦し、新たな自分をどんどん見つけていきたいです。

『アジアで就職したい方へ』

就職決定

野田さん

海外で働くには異文化に対する柔軟性が必要！

沖縄県立芸術大学出身（平成28年3月卒）

派遣先　ベトナム／ハノイ［コンサルティング業］

研修先でコンサルティングの考え方について学びました。問題を聞きだす力、状況を把握して提案していく力、スピード感、タイミングが合わさってよい提案が出来ることを議事録や資料作成を通してトレーニングしてもらいました。また海外で働く時には柔軟性（違う文化同士のビジネスでの問題や理解しがたい出来事に対応し調整する能力）が必要だと学びました。三ヶ月はあっという間ですが、研修期間で十分な質・種類の仕事をさせていただけたと思います。特に私は新卒の状態でこのプログラムを受けたので、社会人としてのマナー等基礎から教えていただきました。また現地のサポーターさんや県人会、ジョブトレーニングの先輩たちの話を聞く機会が持てたことはとてもよかったと思います。

沖縄県海外長期ジョブトレーニングは、海外で就職することについてもサポートしてもらえるので、**アジアで就職したい方には、学べることも多く将来像がはっきり見えるチャンス**になるのではないかと思いました。

『海外デビュー』

就職決定

城田さん

チームビルディングを
出来る様な仕組みを考えて
仕事をすることが大切

沖縄国際大学出身（平成28年3月卒）

派遣先　シンガポール［メーカー］

英語は得意な方なので臆することなくシンガポールへ向かいました。しかしシングリッシュ（シンガポール英語）はとても聞き取りづらく、初めて異国に訪れた感じがしました。

今回、セールススタッフとして配属され一日中いろんなお客様を接客するのでとても楽しくやりがいがありました。高価な商品を購入するため、綿密な相談を受けることも多かったです。お客様の対応をしていくうちにシングリッシュという壁も乗り越えることが出来ました。私が**シンガポールで働いて気づいたことは、海外と日本の仕事に対する姿勢の違い**でした。自分の仕事だけをこなし、人の仕事は一切やらない。相互扶助の欠けていたことが気になりました。どんなに仕事がルーティン化されていても一人一人が今以上に効率よく仕事を終えることができ、なおかつチームビルディングを出来るような仕組みを日々考えて仕事をすることが大切だと気づきました。

『やりたいことへの第一歩』

就職決定

屋比久さん

海外への想いが
少しでもあるなら
チャレンジしよう！

沖縄国際大学出身（平成28年3月卒）

派遣先　シンガポール［飲食業］

私はシンガポールにある沖縄料理店で研修を行いました。ホールでの接客担当でしたが英語がほとんどゼロの状態で行ったので意思疎通に苦戦しました。聞き取れない、伝えられない私に対して、お客様や周りのスタッフに優しくフォローしてもらいながらの研修でした。また週2回の英会話研修で飲食店用語等を学ぶことが出来、お店でも役立ちました。シンガポールは、物価が高いイメージを持たれている方が多いと思いますが、現地の人達が利用するホーカーセンターなどでは日本円にして500円程度で食事を済ませる事が出来ます。工夫次第ではお金をかけずに生活することが可能だということを実感しました。

これから海外へ出たい。海外で働いてみたいと少しでも思っているのであれば、思い切って出てみてください。就職先となったシンガポールは、日本人にとって住みやすい国だと思います。また、多国籍なため人がとても優しいです。シンガポールでなくても海外に興味がある方は、是非チャレンジしてみることをお勧めします。**海外ジョブチャレンジは夢を現実に近づけてくれる最高のサポート**だと思います。自分で一歩踏み出せば届きます。少しでも思いがあるのならチャレンジしてみてください。

海外中期ジョブトレーニング

海外中期インターンシップとは、県内の大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、1ヶ月の予定で海外の企業にて、就業体験をするプログラムです。短期インターンシップでは経験できない充実した研修が受けられ、昨年度は10名の学生が参加しました。
将来的に海外就職を見据えた長期ジョブトレーニングへのステップアップも可能です。

●主な派遣先（実績）

■ベトナム（ホーチミン・ハノイ）
○不動産業　○スポーツクラブ
○情報通信業　○観光業
○美容業

■シンガポール
○行政機関
○イベント業

■香港
○観光業

『インターンシップを通して学んだこと』

宮城さん

海外就職で
求められるものを
具体的に知ることが出来た！

名桜大学　国際学群　3年次

派遣先　シンガポール［イベント・出版業］

今回、フリーマガジンを発行している会社にてインターンシップを行いました。前半は、シンガポール最大級の旅行博に参加してシンガポール人へ日本の素晴らしさを「WAttention」（雑誌）で伝えると同時に、フリーマガジンを通して紹介アンケートを取り、外国人目線で見る日本を知ることが出来ました。後半はシンガポール在住の日本人向け「Mangosteen Club」で特集記事の情報収集や営業の同行をしました。営業ではクライアントのコンセプトや大切にしているものをよく理解し、要求にあったプランの提供と一緒に仕事するメリットを説明できるかが大切だと知りました。また、仕事以外でも会社の社員や県人会の方々には、実際に海外就職の経験談など具体的なアドバイスをいただき、今後の就活への不安をポジティブな方向へ導いていただきました。

今回の経験から海外就職で求められるものを具体的に知ることができ、**これからやるべきことが明確になった**ことが一番の収穫でした。

『HK（日々興味関心行動）』

與那城さん

琉球大学　法文学部　2年次

香港に来て
その海外という“環境”を
ひしひしと感じました

派遣先　香港［旅行業］

今回、①海外で生活できるのか？②自分で調べて行動できるのか？という二つの課題に挑戦するために応募しました。研修の1ヶ月間は毎日が刺激的で楽しく、また戸惑いながらの１人で行動することが出来ました。特に印象的に残っていることは、香港在住の２０代の会社社長と沖縄からインターンシップで来ていた学生と食事に行った時のことです。その学生は、将来インドネシアで行いたい事業について利益率や他事業との比較、IT、通信等様々な専門的かつ海外事情を含めた話になり、私はそれについていくことが出来ませんでした。3人とも同じ20代、その学生は私と1歳違い、その時に情報・知識・行動力の全てにおいて自分の至らなさを痛感しました。環境が人を育てるといいますが、香港に来てその海外という“環境”をひしひしと感じました。インターンシップ先の企業では、会社の生の雰囲気を感じることができ、**自分で考えて行動することや言語力パソコンの技術不足といった課題も見つけることができました**。今回の経験を忘れず新たなことにも挑戦し続けていきたいと思います。

『働くことの位置づけ』

與那城さん

沖縄大学　法経学部　3年

必要なスキルを身に着け
チャンスをものにしていきたい

派遣先　ベトナム／ホーチミン［不動産業］

このインターンを通して学んだことは、何かを成し遂げる方法は1つではないこと、目的を持って行動することの大切さ、私自身まだまだ分からないことがたくさんあるということだった。今回、いろんな職種の経営者に会ったが、全員が同じことは言わなかった。時に逆のことを言うこともあり答えが１つではないこと知った。しかし、共通していることもあり、それは目的を明確に持っているということだ。**目的を持って行動するのとしないのとでは大きな違いがある**と感じた。今回の経験は、本格化してくる就活を前に働くということにしっかり向き合える機会になった。私は将来「沖縄でしかできない産業を創出することで外貨を取り込み、沖縄全体の賃金上昇をはかる。県民・その他の人々が住みやすい環境を作る」ような仕事につきたいと考えている。まずはそのために必要なスキルを身に付けチャンスをものにしていきたい。

海外短期インターンシップ

海外短期インターンシップとは、県内の大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、9泊10日の予定で海外の企業等にて、就業体験や会社訪問等を行うプログラムです。その中には、現地の学生との交流や日系企業経営者との懇談会などアジアを体感できる多彩なプログラムがあります。
平成24～28年度までの参加者は、実に591名にのぼり、帰国後は、その経験を糧に自分の夢や目標に向かい新たなスタートを切っています。

●主な派遣先（実績）

■ベトナム（ホーチミン・ハノイ）
○ホーチミン師範大学
○小売業　○出版広告業
○IT業　○観光業

■マレーシア
○クアラルンプール大学
○行政機関　○飲食業
○サービス業　○通信サービス業

■台湾
○台湾大学　○東呉大学
○旅行業　○製造業
○情報通信業

■香港
○香港理工大学
○行政機関　○貿易業
○IT業　○観光業

■シンガポール
○シンガポール大学
○行政機関　○マスコミ
○飲食業　○イベント業

『自分らしさを忘れない強い人間に』

阿利さん

沖縄キリスト教短期大学　英語科　1年次

これからもなりたい
理想の自分に近づけるよう
頑張りたい。

派遣先　シンガポール

私は「ブレない自分軸を持つ！」という目標を立て、今回の海外短期インターンシップに参加した。私は、今まで人の意見に惑わされ、軸がぶれることで苦しんでおり、今後、自分らしい生き方をするためにも、その目標に取り組む必要があった。

最初に、私が自分軸を身に付けるために取り組んだことは、事前研修で教えていただいた「自分軸ノート」の作成だった。ノートには、研修中の講話で共感した話や、日々の生活の中で大切だと気づいたことなどを、自分の価値観となるように書き込んだ。ノートに表された自分の価値観は物事を決めるベースとなっており、**本当の答えは右か左で探すものではない**ということに気が付いた。

また、海外の職場体験では「間違えても良い精神」というものを学んだ。完璧主義な部分があった私は、自信がないものからは逃げたりする自分がいたが、「間違えても良い精神」は、私をブレイクスルーさせた。それは、分からないことだらけの環境でも楽しみ、思いっきり行動できるきっかけになったからだ。これからもなりたい理想の自分に近づけるよう頑張っていきたい。

『受け入れる心』

嘉陽さん

メンバーが本音で自分の思いを伝えあうことが出来、信頼関係が生まれました。

沖縄国際大学　産業情報学部　1年次

派遣先　ベトナム／ハノイ

研修を通して**一番の学びは信頼と信用の大切さ**です。これは現地サポーターがよく口にしていた言葉でもあります。信頼と信用が無ければどんなに技術があっても仕事がもらえないし、何をやっても認めてもらえない。社会は信頼と信用で成り立っているという実際に社会に出て苦労された人生の先輩からの言葉はとても心に響きました。信用と信頼を得るために自分磨きをすることが大切であることも学びました。日頃から時間や約束を守るなど小さな行動が大きな結果に結びつくので、日々の自分磨きを徹底して行っていこうと思いました。

また、私はチームのメンバーからとても多くのことを学びました。このインターンシップに参加する前と比べると人間的な部分で成長したと感じています。沖縄にいるときから本音で話し合おうと決めていましたがなかなか実行できずにいました。それへのストレスから一度ハノイにいるときに修復困難な状態になりました。けれど全員が本音で自分の思いを伝えあうことが出来、これまでにない信頼関係が生まれました。他者を受け入れることは、これから人と関わるうえでとても大切なことであると気づきました。

『今、私がすべきこととは』

宮里さん

沖縄の魅力を世界の人々に発信し沖縄の経済発展に貢献したい。

名桜大学　国際学群　観光産業専攻　2年次

派遣先　香港

私の研修目標は、「コミュニケーション能力の向上、臨機応変に動ける力を身に付ける!」ことでした。この目標を達成するために、事前研修や海外研修で今ある能力、欠点を知り、何をすべきかと考えてきた。**香港で出会った全ての人に共通していたことは強い信念があり、努力して現在の地位を得ている**ということだ。

また、「未来を予測する」ことの重要性も改めて感じた。高齢化社会は今よりもっと進み、人工知能はもっと進化していく。人材が必要となる職業とそうではない職業が出てくる。その話を聞き、不安に感じた。しかし、未来を予測しそれに対応した技術を身に付けることでその不安を解消できると感じた。

職場体験では、日本への旅行を誘致するための資料作成を行ったが、自分の想像力のなさに絶望した。他の商品と差をつけるためには想像力が豊かでないといけない。私にはこの能力が不足していると知ることができた。座学だけでなく、国内・国外旅行や芸術鑑賞などでアイディア・感性を磨き、個性的な発想力を身に付ける必要があると実感した。これから様々なことに挑戦し、今後、沖縄の魅力を世界の人々に発信していけるような人材になり、沖縄の経済発展に貢献していきたい。

『目の前のことを一生懸命』

小波津さん

何事にも失敗を恐れず、一生懸命取り組んでいきたい。

沖縄大学　法経学部　2年次

派遣先　台湾

私は、将来の夢がなかったため、「夢を見つける」という目標を設定した。だが、訪問先の方から「やりたいことは見つけるものではなく、**物事に一生懸命取り組んでいるとおのずとやりたいことが出てくる**」と聞き、研修の途中で目標を「夢を見つける」から「目の前のことを一生懸命」に変更した。
変更後は講話してくれる方々の話をしっかりと聞き、メモを取り、積極的に質問をした。その中で、私は将来、営業という仕事に就きたいと感じた。私は、人と話すことが好きで、行動することが好きだ。営業という仕事は、様々な場所で、様々な人と接する仕事だからだ。
私は、将来やりたいことを見つけた。つまり、最初に設定した「夢を見つける」という目標は達成できたのだ。これは、目標を変更したからこそ見つけられたのだと思う。

また、私はこの研修に参加する前は海外で働きたいという意識はあまりなく、語学の重要性もわかっていなかった。だが、今では、営業で沖縄と海外を行き来するような仕事をしたいと考えている。失敗のない成功はない。何事にも失敗はつきものでそこから学ぶことは多く、その失敗を成功へつなげる。今後、何事にも失敗を恐れず、一生懸命取り組んでいきたい。

『自分の夢に向き合えた10日間』

當間さん

毎日の日記や読書を通して、継続的に物事に取り組む力を身に付けたい!

琉球大学　法文学部　国際言語文化学科　2年次

派遣先　ベトナム／ホーチミン

私は「ハングリー精神と笑顔」という目標を掲げてこのインターンシップに臨みました。事前研修ではわからないことがあったときに講師の先生方や友人に聞くようにし、疑問をそのままにしないように努めました。チーム活動では学生交流のプレゼンテーションの作成などを主体的に行い、現地での研修期間は忘れ物がないか常に確認するように意識し、小さなことでも気づいたことがあれば共有することでチームに貢献できたと思います。そして常に笑顔でいることで場の雰囲気も良くなり、対人関係もよくなるということを実感しました。

このインターンシップで得た一番大きなものは、人との出会いです。切磋琢磨できるチームのメンバーとの出会いもそうですが、**ベトナムで出会った企業の方々、ベトナムの学生たち、子どもたちとの出会いは私にとってとても大きな財産になりました**。海外研修を終えて、これまで考えてもなかった県外就職、海外就職が選択肢として増えました。

これからの目標としては、引き続きハングリー精神を持つことに加えて、毎日日記をつけることや読書を通して継続的に物事に取り組む力を身に付けられるようにしていきたいです。